

令和5年9月市議会定例会

副市長認定議案説明

認定第1号 令和4年度長野市各公営企業会計決算の認定についてのうち、
私から、長野市産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計の決算の概要につき
まして、御説明申し上げます。

初めに、長野市産業団地事業会計決算の概要につきまして申し上げます。

「認定議案」の15ページを御覧いただきたいと存じます。

まず、「収益的収入及び支出」につきまして申し上げます。

「収入」の「産業団地事業収益」につきましては、予算額2億240万円に対しま
して、決算額は2億206万8,868円となりました。

また、「支出」の「産業団地事業費用」につきましては、予算額1億6,520万円
に対しまして、決算額は1億5,186万8,922円となり、この結果、17ページの損益
計算書に記載のとおり、5,019万9,946円の純利益が生じたところでございます。

16ページを御覧ください。

次に、「資本的収入及び支出」につきまして申し上げます。

「収入」の「資本的収入」につきましては、予算額3,100万円に対しまして、
決算額は0円となりました。

また、「支出」の「資本的支出」につきましては、予算額1億7,600万円に対し
まして、決算額は1億4,500万円となりました。

この結果、1億4,500万円の不足額が生じたところでございます。

この不足額につきましては、過年度分損益勘定留保資金から1億4,500万円補填
いたしました。

次に、長野市戸隠観光施設事業会計決算の概要につきまして申し上げます。

168 ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入の観光施設事業収益につきましては、予算額1億7万9,000円に対しまして、決算額は1億314万6,280円となりました。

また、支出の観光施設事業費用につきましては、予算額1億1,657万9,000円に対しまして、決算額は1億988万1,042円となりました。

この結果、169 ページの損益計算書に記載のとおり、収入支出決算額から、それぞれ消費税及び地方消費税を除きまして、1,183万6,754円の純損失が生じたところでございます。

この当年度純損失に前年度からの繰越欠損金7億2,384万6,871円を合わせた、当年度未処理欠損金7億3,568万3,625円は、全額、翌年度繰越欠損金として処理するものでございます。

もう一度、168 ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

資本的収入につきましては、予算額1億4,872万1,000円に対しまして、決算額は1億3,702万1,000円となりました。

資本的支出につきましては、予算額1億4,872万1,000円に対しまして、決算額は1億3,704万4,000円となりました。

この結果、2万3,000円の不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額から、全額補填いたしました。

以上、令和4年度長野市産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計の決算の概要につきまして御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算報告

書のほか、損益計算書、欠損金計算書、剰余金処分計算書及び欠損金処理計算書、
貸借対照表、事業報告書及び財務諸表附属明細書を御参照いただきたいと存じます。

何とぞ十分御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。